視覚慧

その研究と情報

189号

2004 January



特集1

新春座談会

普通校で生徒指導に自信と実績をあげている 視覚障害教師 4 人の心意気

特集2●

車の両輪としての権利条約化と差別禁止法制定 ○野村 茂樹

ルポー

支援費の移動介護になったガイドヘルパー

先駆的に取り組んだ京都府視覚障害者協会

◎加藤 俊和

視覚障害者スポーツの普及に尽力する

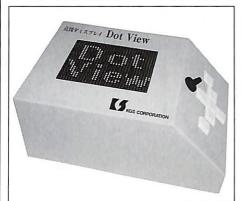
アンドリュー・チューさん ◎山口 芦風

今を走る●-

全盲の女性技術者 浅川智恵子さん ◎望月

点図ディスプレイ を点図の形でリアルタイムに表示。

Dot View DV-1)



パソコン上のあらゆる画面情報を瞬時に表示し、認識活用できる新 触覚時代創造ツールです。「ドットビュー(Dot View DV-1)」は 図形情報を点図の形でリアルタイムに表示できるボータブルな点図 ディスプレイです。24ドット×32ドットの表示部は高速にリフレッシュ できるので、スクロールや拡大/縮小などの操作も思いのままです。 静止画、ANK、漢字はもちろん動画、点字も含めたマルチ表示があ らゆる場面で自由自在ですから点図使用者の図形情報アクセスに新 たな可能性を開きます。

バソコンの 作支援ツールとして

画像触読

アミューズメント 分野への応用







文章表示画面例





- ●点字ディスプレイ「ブレイルノート」は、点字利用者のパソコン利用の強力 な支援ツールとして、正確でリアルタイムな点字情報を伝達する必携コミュ ニケーションツールです。新開発:ブレイルノート46Xは究極の点字ディス プレイとして、さまざまな便利機能を付加した、コストパフォーマンスに優 れた、スマートでコンパクトな世界最先端の点字ディスプレイです。
- ■点字文書の読み書きや校正はもちろん、時計、アラーム、カウントダウン・タ イマー、ストップウォッチ、カレンダー、電卓など、日常生活の中で便利に使 える機能やスケジュール帳、表の集計機能など、身の回りの情報管理に役立 つ機能を内蔵、これらの機能は、点字ディスプレイ機能と平行して動作しま すので、本体内部の文書を読みながら、パソコンを操作することが可能です。



Braille Note 480 ¥449.000

●カラーは、ブルーとピンクの

2種類をご用意しています。

さらにお求めやすくなりました。

レイルメモ®

ブレイルファミリ-

あらゆるシーンで活躍する点字利用者の必携情報機器

片時も手放せないほど重要な存在となったブレイルメモは、昔ながらの不便な点字利用環境を根 底から覆すほどのインパクトを持った新しい情報機器として、点字利用の便利さ、有効性を再認

識させ、点字文化をダイナミックに継承して行く最新便利ツールとして、着実に浸透、普及し始めました。 ブレイルメモ16は8点16マスの点字表 示部と各種入力キーをそなえた、バッテリー内蔵の小型軽量の携帯仕様で、いつでも、どこでも手軽にメモを取ったり、時計、電卓、カレンダーな ど便利なアクセサリー機能を利用して、日常必要な身の回りの情報をしっかりと管理、あらゆる場面で、情報の有効利用ができる必携ツールです。

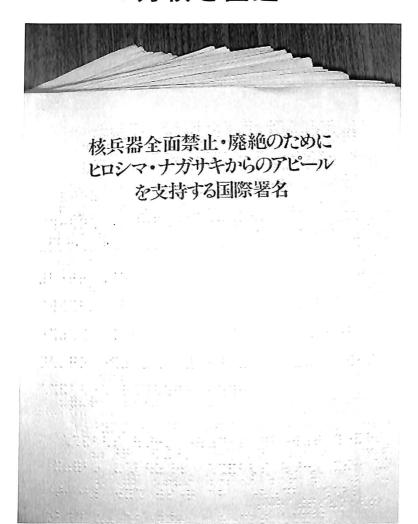


〒355-0321 埼玉県比企郡小川町小川1004 TEL.0493-72-7311(代) FAX.0493-72-7337

アージーエス株式会社 E-mail:info@kgs-jpn.co.jp URL:http://www.kgs-jpn.co.jp

《GS CORPORATION ●掲載製品についてのお問い合わせは昇社営業部まで ※製品の仕様、規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

核兵器廃絶求める点字署名 1万枚を国連へ



全日本視覚障害者協議会(全視協、柿本一志会長)は、核兵器の全面禁止・廃絶を求める点字署名1万筆を集め、15年10月、使節団を派遣してアメリカ・ニューヨークの国連本部に届けました。

国連軍縮週間の始まりに合わせて「人権と平和を求める国際使節団」として渡米したのは、全視協の緒方淳子さんと三瓶和寿さん。22日、国連のアナン事務総長あてに、署名目録と写真、署名の実物10枚と要請文を持参し、阿部信泰軍縮問題事務次長に被爆国日本の視覚障害者として核兵器全面禁止廃絶の声を伝えました。



A4判変形サイズの署名用紙には、「核兵器全面禁止・廃絶のためにヒロシマ・ナガサキからのアピールを支持する国際署名」と墨字でも書かれています。署名は全て点字によるもので、積み上げると高さおよそ5メートルにもなりました。

20日からの1週間をアメリカ滞在した使節団は、他にメキシコ、ブラジル、マレーシア、スウェーデンの各国政府代表との会談や、ワシントンでの反戦デモへの参加など、さまざまな平和活動を行ないました。





尚、現在、全視協は、被爆60周年に向けて「いま核兵器廃絶を —— ヒロシマ・ナガサキを繰り返さないために」の国際点字署名活動も展開しています。

(写真提供:全視協事務局/文:橋本京子)

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター までお問い合わせください。

- 次号 (2004年3月 No.190) 予告 -

特集 スリランカと浜松に虹の掛け橋を…… 斯波千秋

ルポ 中古バスでパソコン教室の出前 --名古屋ライトハウスのユニークな事業…… 大塚 強

アジアレター 障害者の高等教育に情熱をかける タイのナンタノット(Nantanoot)さん …… 山口芦風

視覚障害情報処理技術の最新動向2003年 …… 長岡英司 ほか

表紙写真: 視覚障害者支援総合センター製作発行「チャレンジ 点字カレンダー2004年」。点字・墨字併記で各月毎 の点図が楽しい。 A 5 判リング製本 1 冊500円。

視 覚 障 害 ―その研究と情報― 2004年1月 No.189

年間購読料 4,200円(送料とも) 発行日 2004年1月1日 編集人 高橋 実

(連絡先) 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

〒167-0043 東京都杉並区上荻2丁目37番10号 Keiビル 電話(03)5310-5051(代) FAX(03)5310-5053 http://www.siencenter.or.jp/

振替口座 00160-4-16103

発行人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

印刷所 株式会社 大活字

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-9 三崎町ビル3階

電話 (03) 5282-4361 FAX (03) 5282-4362